

## 民間クリニックにおける効果的な HIV 即日検査の実施と質の向上のための

### 研究

研究分担者 井戸田 一朗（しらかば診療所）  
研究協力者 佐野貴子（神奈川県衛生研究所）  
近藤真規子（神奈川県衛生研究所）  
今井光信（田園調布学園大学）

#### 研究要旨

民間クリニックにおける HIV 検査は、PICT と VCT の 2 つの modality がある。本分担研究では、HIV 検査実施のモデルとなる医療機関とのネットワークの（再）確立を目的に検討を行った。次年度より、ウェブサイト掲載基準の決定、既存の協力施設との連携、新規施設公募を実施する予定である。

#### A.研究目的

HIV 検査実施のモデルとなる医療機関とのネットワークの再確立

#### B.研究方法

既存の HIV 検査研究班で 2014 年までに確立された、41 箇所の HIV 即日検査を実施する民間クリニックとのネットワークは、2015 年 3 月に HIV 検査研究班の終了に伴い、喪失したものの、検査研究班ウェブサイト (<https://www.hivkensa.com>)には引き続き掲載されている。PICT 及び VCT のいずれかの手法による、HIV 検査実施のモデルとなる医療機関とのネットワークの再確立のあるべき手法を明らかにすることを目的に検討を行った。

(倫理面への配慮)

特に無し

#### C.研究結果

- 2018 年度も複数の医療機関から、[hivkensa.com](https://www.hivkensa.com) への掲載を希望する問い合わせ

せがあった。

- 既存の医療機関に対しては、a) 今後の掲載継続の希望有無 b) 掲載継続の場合、検査数及び陽性者数を 1 年毎に報告して頂くことを条件とする。
- 新規掲載を希望する医療機関に対しては、審査や参加基準をクリアに提示し、オープンなプロセスを経て審査を行う必要がある。
- 受検者からのクレームが入ったときの対応を決めておく必要がある。
- 各医療機関における HIV 検査は、即日検査にこだわらず、検査手法や検査料について、情報公開を目指す。
- 上記の流れをウェブサイト上でオープンにし、応募を期待する。
- 既存の 30 余施設に優先的にアプローチを行う。

#### D.考察

- 1) ウェブサイト掲載の基準を決定

2) 既存の協力施設への通達と意思確認

3) 新規施設の公募

を実施するための検討を継続する必要がある。

定である。

#### **E.結論**

既存の HIV 検査研究班において確立された HIV 検査実施のモデルとなる医療機関とのネットワークの（再）確立を目的に検討を行った。次年度より、ウェブサイト掲載基準の決定、既存の協力施設との連携、新規施設公募を実施する予

#### **F.健康危険情報**

無し

#### **G.研究発表**

無し

#### **H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）**

無し